

平成 27 年度文化財保護事業報告

1. 委員会

「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)、「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。

- ・文化財保護審議会：年 1 回開催 (平成 28 年 3 月 30 日)

2. 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1) 文化財の指定：清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 33 件。

【清須市内指定文化財等一覧】(資料 3)

※国指定 1、県指定 3、市指定 28、国登録 1 (計 33 件)

- (2) 埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

【清須市内の遺跡一覧】(資料 3)

【平成 27 年度】(平成 28 年 3 月 15 日現在)

93条届出	94条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
111件	9件	4件	4件	1件

※93条届出：民間開発に伴う届出、94条通知：公共事業に伴う通知

- ① 発掘調査

五条川右岸巡礼橋北側：清洲城下町遺跡 28年度報告書刊行予定
(総合治水対策特定河川工事事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

- ② 清洲城下町遺跡柿経保存処理

25年度より実施。本年度は約 144 片を処理。

(国庫補助減額により事業縮小 → 当初の 4 カ年計画を 5 カ年計画に)

3. 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産(埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等)の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

- (1) 歴史資料展示室における資料の公開

清須市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナーと、より深いテーマ性をもつ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわかりやすい展示をめざす。

① 「学び舎と教科書 ―大正元(1912)年から昭和20(1945)年まで―」

- ・会 期 平成27年4月11日(土)～7月26日(日)
- ・展示内容 前回の江戸時代から明治時代の企画展の続編として開催。大正元(1912)年から昭和20(1945)年までの教育制度の歩みを「学び舎と教科書の歴史的変遷」を切り口にして、清須市が所蔵している教育関係資料を中心に展示した。
- ・入室者数 4,743名

② 企画展「昔あった造り酒屋と売り酒屋―明治・大正・昭和初期を中心に―」

- ・会 期 平成27年8月8日(土)～10月25日(日)
- ・展示内容 愛知では古くから自然の恵みを最大限生かした酒造りが行われてきた。市域での酒造りは明治時代に入り盛んになった。日本酒造りに取り組んだ造り酒屋の営みと地産地消の地酒の販売に努めた売り酒屋の足跡について、市所蔵の古文書や民具資料を中心に展示した。
- ・入室者数 4,232名

③ 企画展「新出土品展―清洲城下町遺跡 一場地区の発掘から―」

- ・会 期 平成27年11月7日(土)～平成28年3月27日(日)
- ・展示内容 近年行われた清洲城下町遺跡発掘調査から、報告書が刊行された給食センター地点、一場神明前病院地点の2ヶ所の成果中心に紹介した。併せて東の柿経の現物も期間限定で展示した。
- ・入室者数 4,445名(平成28年2月末現在)

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

- ・会 場 清洲市民センター3階302視聴覚室
- ・受講者数 延べ87名

回	月/日	受講数	内容	講師(敬称略)
1	5/28 (木)	23	発掘よもやま話	清須市歴史文化振興員 前田 雅彦
2	6/25 (木)	22	見世物・つくりもの	名古屋市博物館 学芸員 武藤 真
3	7/23 (木)	21	北丹波・東流遺跡の調査 ～平成25年度調査～	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員 永井 宏幸
4	8/27 (木)	21	朝日遺跡と木の文化	愛知県教育委員会文化財保護室 原田 幹

② 文化財講演会

- ・講演名 「清須守護代織田氏の庶子家の再検討-最近の研究成果から-

- ・講師 水野 智之 氏（中部大学准教授）
- ・期 日 平成28年3月6日（日）
- ・会 場 清洲市民センター2階集会室
- ・参加者数 92名
- ・内 容 最新の研究成果から「清須三奉行」は「奉行」という立場でなかったのではないかという見解がなされている。その内容を紹介しつつ、小田井の織田家や織田因幡守家、織田弾正忠家の動向を改めて検討を行い、講演を行った。

(3) 市内文化財めぐり

市内の文化財を巡る実地見学を行った。愛知県清洲貝殻山貝塚資料館を中心に市歴史資料展示室と清洲城をめぐる。

- ・期 日 平成27年10月22日（木）
- ・参加者数 21名

(4) 文化財関係刊行物の販売

生涯学習課と西枇杷島問屋記念館にて刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】（資料3）

(5) 歴史文化振興事業

平成19年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

4. 施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

◎ 西枇杷島問屋記念館

- ・名 称 清須市西枇杷島問屋記念館
- ・所 在 地 清須市西枇杷島町西六軒20
- ・面 積 敷地面積 1,391.55㎡ 延床面積 151.62㎡
主 屋 98.82㎡ 離 れ 52.80㎡
- ・構 造 木造2階建
- ・開 館 平成5年4月
- ・概 要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成4（1992）年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
- ・開館日数 304日（62日休館）
- ・入場者数 3,805名（2月末日現在）

5. 指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助を行った。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財（山車） 3件
- (2) 管理費補助 ① 有形文化財 7件
② 有形民俗文化財（山車） 6件 計13件
- (3) 公開費補助 有形民俗文化財（山車） 6件
(尾張西枇杷島まつり 5件、北部市場まつり 1件)
- (4) 保存施設整備補助 有形民俗文化財（山車） 1件
- (5) 文化財関連団体

○ 西枇杷島町山車保存会

- ・目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。
- ・役員 会長 箕浦信夫 副会長・会計他
- ・会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杵西町の町内会会員
- ・主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他